

内閣総理大臣 安倍 晋三 様
厚生労働大臣 田村 憲久 様
財務大臣 麻生 太郎 様

希望するすべてのひとが7ワクチンを定期接種で、
無料で受けられる制度の実現を求めます

鹿児島県保険医協会
会長 高岡 茂



前略 国民の健康と医療の確保に対するご尽力に敬意を表します。

さて、わが国では、子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B型肝炎などのワクチンは任意接種であり、日本の予防接種政策は世界から大きく遅れています。

「ワクチンで防ぐことができる病気は、ワクチンで防ぐ」ことは、世界の常識です。

しかし、わが国では諸外国では当たり前接種されているワクチンの多くが定期接種化されておらず、高額な費用のために接種をあきらめてしまう家庭が少なくありません。また、予防接種法に基づく定期接種となっている百日咳、ジフテリア、破傷風、ポリオ、麻疹(はしか)、風しん(三日はしか)、日本脳炎、BCGについても、実費徴収ができるとなっていることが問題です。

平成 24 年 5 月 23 日に厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会が取りまとめた「予防接種制度の見直しについて(第二次提言)」では、「医学的・科学的観点からは、7ワクチン(子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B型肝炎)について、広く接種を促進していくことが望ましい。」とされています。

わたしたちはワクチン接種に国が責任を持って、次の事項を実現するよう強く求めるものです。
一日も早く、世界標準であるワクチンを無償で接種できるよう、ご尽力をお願いいたします。

記

- 一. 予防接種法を改正し、地域間や経済的格差なく、希望するすべてのひとが7ワクチン(子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B型肝炎)を定期接種で、無料で接種できる制度を早期に実現すること。
- 一. ワクチン接種に関する健康被害の監視・管理体制を強化するとともに、健康被害に対する補償について国が責任をもって実施すること。当面任意接種であっても定期接種と同様の救済制度とすること。
- 一. 病気や家庭事情等で、決められた接種期間にワクチン接種ができない人が費用の心配なくワクチン接種ができるよう柔軟に対応すること。

2013.3.7 南日本新聞

7ワクチン無料
定期接種を要望
政府に鹿児島県保険医協
会
鹿児島県保険医協会
(高岡茂会長、131
7人)は6日、小児用
肺炎球菌やB型肝炎な
ど7ワクチンを希望者
全員が無料で定期接種
できるように、安倍晋三
首相らに要望書を郵送
した。
要望は①地域や経済
的格差なく、任意接種
である7ワクチンを無
料接種できる制度の早
期実現②健康被害の管
理体制強化や補償など
3項目。同協会は「ワ
クチンで防げる病気は
ワクチンで防ぐのが世
界の常識。任意接種の
ワクチンを無料接種で
きるよう求める」とし
ている。